

## レブンアツモリソウの概要

### 1. 分類

被子植物 単子葉類 ラン科

レブンアツモリソウ

*Cypripedium macranthos* var. *rebunense*

絶滅危惧 IB 類（環境省レッドリスト 2012）



### 2. 形態的特徴及び生物学的特性

- ・多年草の地生ランで、5月下旬～6月下旬に淡黄白（クリーム）色の大きく優美な花をつける。
- ・発芽及び生育には *Tsulasnella* 属の共生菌が関係していると考えられている。
- ・礼文島沿岸地域の適湿～やや乾性の明るい草原を主な生育地としている。
- ・日本固有種

### 3. 分布状況

北海道礼文島のみ分布する。

かつては礼文島の広範囲に分布していたとされているが、盗掘により、大群落は島内2箇所に限定されている。

自生地以外では礼文町高山植物培養センターにおいて、無菌培養株個体が多数栽培されており、共生菌培養株の栽培にも取り組んでいる。

### 5. 生育を脅かす要因

盗掘

攪乱機会の減少により自生地でササ、高茎草本等が繁茂し、その被陰により本種が衰退している。近縁種であるカラフトアツモリソウとの交雑が懸念されている。

### 6. 保護増殖事業の概要及びその効果

- ・平成 6 年国内希少野生動植物種に指定、平成 8 年保護増殖事業計画（農林水産省、環境省）と共同策定。
- ・群生地の一部（船泊地区 1.7ha、鉄府地区 4.6ha）を環境省所管地として管理。
- ・関係機関が連携した巡視により盗掘件数は激減。
- ・環境省所管地に永久コドラートを設置し、個体数の変動をモニタリングするとともに、ササの刈払いなどの生育環境改善手法の試験を実施。
- ・H23 より、具体的な中間目標等を盛り込んだロードマップの作成に向けた検討を開始。
- ・群生地については、立入防止柵の設置、監視カメラの設置、巡視を実施。
- ・町民向けの学習交流会を開催する等、普及啓発を実施。礼文町では人工繁殖等を実施。

## 7. 他法令等による保護

レブンアツモリソウ群生地が北海道の天然記念物として 14.1ha が指定されている。